



1月 給食だよ



文責：牛深学校給食センター 鶴長

あけましておめでとうございます。

冬休みは楽しく過ごすことができましたか？新しい1年が始まりました。今年もみなさんが、元気に楽しく学校生活を送れるよう、おいしく栄養満点な給食づくりに励んでいきます。まだまだ寒い時期が続きます。手洗いうがい、健康的な食事、十分な睡眠を心がけ、体調を整えるようにしましょう。



★ 学校給食アイディアメニュー ★

中学校の生徒が考えたアイディアメニューが給食に登場します！お楽しみに♪
(調理の都合上少しアレンジしています。)



1月21日(水)「さつまいもの甘辛炒め」
1月22日(木)「豆腐グラタン」
1月23日(金)「鶏肉の雑節から揚げ」



12月

給食を紹介します



天草宝島デー

天草産豚肉のしょうが焼き

天草産キャベツのコールスローサラダ



図書コラボメニュー

物語の中に出てくるいろいろな料理を、給食で紹介しました。どれもおいしい料理たちでした。



12月4日(木)
「精霊の守り人」
上橋菜穂子/偕成社 より
タンダの山菜なべ



1/24~1/30は
「全国学校給食週間」です

に ほん がっ こう きゅう しょく

日本の学校給食のあゆみ



がっ こう きゅう しょく はじ

学校給食の始まり

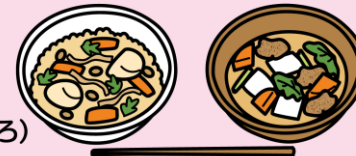


明治22(1889)年、山形県の私立忠愛小学校で、貧しい子どもたちへ食事を提供したのが始まりとされています。この学校は大督寺というお寺の中にあり、お坊さんたちが家々を回ってお経を唱え、いただいたお金や食べ物を使って食事を用意していました。大正12(1923)年には、子どもたちの栄養状態を改善するための方法として、学校給食が国から奨励されるなど、各地へ広がりましたが、戦争による食料不足で中止せざるを得なくなってしまいました。

おにぎり
や ざかな
焼き魚
つけもの
漬物
めいじ
(明治22年ごろ)



五色ごはん
えいよう
栄養みそ汁
たいしょう
(大正12年ごろ)



し えん ぶっ し

がっ こう きゅう しょく さい かい

支援物資による学校給食の再開



戦後、子どもたちの栄養状態の悪化を心配する声が高まり、昭和21(1946)年12月24日にLARA(アジア救援公認団体)から給食用物資の寄贈を受けて、翌1月に学校給食が再開されました。当初は12月24日を「学校給食感謝の日」としていましたが、その後、冬休みと重ならない1月24日からの1週間を「全国学校給食週間」とすることになりました。

ミルク

トマトシチュー
しょうわ
(昭和22年ごろ)



カレーライス
ぎゅうにゅう
牛乳・塩もみ
たまご
ゆで卵
しょうわ
(昭和51年ごろ)



このように、学校給食の内容は時代とともに変化していますが、いつの時代も変わらずに、「子どもたちが飢えることなく、おいしく食べて、健やかに成長できるように」といった願いが込められています。現代では、大人になっても自分自身で考えて健康な食生活を送ることができるように、学校給食は「教材」としての役割も担っています。